

# 工学実験Ⅱ（土木系）(Experiments of Civil Engineering)

本科	選択・必修	開設時期	単位数	授業形態	担当
土木建築	必修	5年前	1	実験	佐賀孝徳 渡辺勝利 目山直樹 櫻本逸男

## 【授業の概要】

実践的技術者を養成する上で重要な実務に役立つ技術や、JIS規格にある重要な実験方法、土木技術者に求められる基礎的知識などを習得するとともに講義内容を体験的に理解する。また報告書の作成により技術者として重要な考察能力を養う。

## 【授業の進め方】

授業形態として、実験は6人/班で行い、3つのテーマをローテーションを組んで行う。実験終了後は、実験で得られた結果を考察し、レポートとしてまとめる。また、欠席したものについては、原則として補講を行う。

各回の実験は120分で行う。ただし、時間割で実施日の最終時間に割り振りができなかった場合は、別に授業を行い時間を確保する。

なお、実験の内容や方法の理解および実験結果のまとめ、レポートを作成するには、予習および復習が不可欠である。

【授業の概要】	【授業項目】	【内容】
1回	機械実験(1)	安全講習
2回	機械実験(2)	ボール盤実習(レポート作成)
3回	機械実験(3)	やすりがけ実習(レポート作成)
4回	機械実験(4)	半田付け実習(レポート作成)
5回	機械実験(5)	アーク溶接実習(レポート作成)
6回	建築実験(1)	バリアフリー実験(1) バリアフリー実験のガイダンス、バリアフリー体験とレポート作成(個人)
7回	建築実験(2)	バリアフリー実験(2) 校内のバリアフリー点検(建物内部)
8回	建築実験(3)	バリアフリー実験(3) 校内のバリアフリー点検(敷地内の外部空間)、校内バリアフリー点検のレポート作成(班単位)
9回	建築実験(4)	バリアフリー実験(4) 交通バリアフリー基本構想等の自治体による通行空間のバリアフリー施策の学習、レポート作成(個人)
10回	建築実験(5)	バリアフリー実験(5) 校内通路のバリアフリー化改善計画の作成、計画案のレポート提出(個人)
11回	水理実験(1)	レポートの書式、実験概要の説明
12回	水理実験(2)	対象河川の選択、踏査
13回	水理実験(3)	河川測量
14回	水理実験(4)	データ整理、プレゼンテーション準備
15回	水理実験(5)	プレゼンテーション

## 【到達目標】

実験内容をよく理解したうえで、実験目的、実験方法、実験結果、考察など、要求された項目を満たすレポートを書くことができる。

## 【徳山高専学習・教育目標】

B1

## 【JABEE基準】

1(2)d-2

## 【評価法】

3種類の実験の平均点で評価する。なお、学生は全テーマについてレポートを提出しなければならない。

## 【テキスト】

各テーマごとに配布されるプリント。

## 【関連科目】

水理学基礎(3年)、水理学(4年)河海工学I、II(4年、5年)、構造力学基礎(2年、3年)、道路工学(4年)

## 【成績欄】

前期中間試験 前期末試験 前期成績 後期中間試験 後期末試験 学年末成績  
【 】 【 】 【 】 【 】 【 】 【 】